



高槻・五領の環境と
子どもの未来を

守る会 News

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会



1 1月勉強会・・・コミュニティ推進室へ追加質問等の抜粋と回答

No.	質問	コミュニティ推進室殿 回答
3	上牧駅前地区は、自治会組織率が低く、その為地域活動に関する情報伝達手段がありません。この結果、組織化出来ないとの悪巡回になっています。情報伝達手段の一つとして、上牧駅前に連合自治会管理の「広報掲示版」が設置出来れば大きな力になると思います、地域推進室のお力をお借りする事は出来ませんか？（設置の許可、場所の交渉等）	まず、設置場所の土地の管轄等もございますので、希望される設置位置の特定や設置に係る費用負担をどうするか等、地域で設置に係る方針をご検討いただくことが必要と考えます。なお、その後の進め方等ご不明な点がございましたら、コミュニティ推進室までお問合わせください。
5	五領地区に、コミュニティセンターは何故無いのでしょうか？検討いただいた事はあるのでしょうか？	平成3年に策定された高槻市第3次総合計画において、中学校区に1か所のコミュニティ活動の拠点となる施設整備が示され、その当時既に設置されていた五領公民館（昭和63年4月）が地域活動拠点施設として位置づけられたものです。
6	コミュニティセンターの職員には、市の職員はいないのですか？運営方法はどのように成っていますか？また、それらは全て同じ方法ですか？推進室が「その」指導、助言をしているのですか？コミセンの位置づけをもう少し詳しく御教示お願い致します。	コミュニティセンターは地域住民の方々を中心としたコミュニティセンター管理運営委員会によって自主運営されており、市職員の配置はございません。 管理運営委員会と本市が覚書を交わし、一定のルールのもとに、地域の特性を活かしながらそれぞれ独自に運営されております。 コミュニティ推進室は各センターに管理運営補助金を交付し、その使用状況やセンターの運営等について必要に応じ助言等を行っております。

防災・減災フォーラム 講演会と パネルディスカッション

五領地区連合自治会と五領公民館の共催による

「防災・減災フォーラム」に参加しましょう。

主催者の五領地区連合自治会長は、「参加した価値あり」としたいと頑張っておられます。

①幅広い世代の方の参加を望んでいます。

②基調講演は、神戸市で消防・危機管理室で現役の時、阪神・淡路大震災、東日本大震災を、現場で指揮をとられた方です。

注意：定員に限りがあり、1月4日～五領公民館への申し込みが必要です。

保育あり、満2歳～就学前の幼児 5人まで（申し込み順）

<開催内容>

1. 日時：平成30年1月20日（土） 10:00～12:00
2. 場所：五領公民館 2F 大集会室
3. 定員：80名 ※五領公民館の電話及び窓口にて参加申し込みを受け付けます。（申込順） 以下裏面へ

五領公民館・五領地区連合自治会 共催

1/20

10:00～12:00

防災・減災フォーラム

—大震災から得た教訓…地域共助の大切さと避難所運営の課題—

【第1部】基調講演
「阪神・淡路大震災の事例から建物倒壊、火災の対応及び避難所運営について」
講師：NPO 神戸の絆 理事 松山雅洋さん（元神戸市消防局予防部長）

【第2部】パネルディスカッション
「災害に備え、地域の住民・コミュニティ・企業は何を準備し、どう取り組めば良いのか」
パネリスト：講師、参加団体の方から数名

参加
無料

保育
あり

講師プロフィール
松山 雅洋
1978年神戸市入所、
東灘区 難波町長、危機
管理室長、消防局予防
部長を歴任。
神戸市消防局消防救
助隊隊長時代に阪神・淡
路大震災を体験、東日本
大震災以降は、神戸市の先
遣隊員として避難所運
営や被災者支援等の課
外活動に携わられた。

＜参加予定団体＞

- ・イオン高槻店
- ・ニチレイフーズ関西工場
- ・高槻市危機管理室
- ・高槻市方面隊
- ・高槻市消防本部
- ・高槻市コミュニティ推進室

申込・問合せ 高槻市立五領公民館
高槻市五領町11-6 072-669-6169

4. 講演内容：

【第1部】基調講演

「阪神・淡路大震災の事例から建物倒壊、火災の対応及び避難所運営について」

(共助の大切さ 避難所は女性の視点も)

講師：NPO 神戸の絆 理事 松山雅洋 (まさはる) 様 (元神戸市消防局予防部長)

【第2部】パネルディスカッション

「災害に備え、地域の住民・コミュニティ・企業は何を準備 (心・物・仕組み) し、どう取り組めば良いのか」

5. 参加団体 (パネラー)

イオン高槻店様、ニチレイフーズ関西工場様

高槻市危機管理室様、高槻市方面隊様、高槻市中消防署五領出張所様

高槻市コミュニティ推進室様、五領公民館様、五領地区連合自治会

平成30年 1月27日 (土)・・・守る会勉強会は、上記講演会を受け以下のテーマを設定しました。

「家族と地域を守る自主防災・減災講座」

高槻市出前講座

危機管理室

「産廃炉対策協議会」運動で多くの皆さんが、「地域のきずな・繋がり」の大切さに気づき、繋がりを実感し、今後もそれを大切にしたいと思われた事でしょう。「高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会」では、その活動を通じて今後も繋がり続ける事が「未来を守る」事に通じると信じています。

さて、災害に対する私達の現在の環境はどうでしょうか。先日の新聞紙上で、四国を通り生駒山系に至る中央構造線上の地震の確率が高い事が発表されていました。南海トラフ地震と併せて考えればそんなに遠くない未来に、私達が地震災害に遭遇する確率は結構高いと感じられたのではないのでしょうか。では、災害発生時、今の私達の繋がりを活かすにはどうすれば良いのでしょうか？

今回、1月20日に「防災・減災フォーラム」が実施されます。このフォーラムでの講演会では、講師ご自身の経験から、自助、共助を含め対応全体の方法と問題点が語られる事でしょう。また、パネルディスカッションでは、地域コミュニティ、企業の観点からの話を聞く事が出来ます。

そこで、私達自身は何を考え、何をすれば良いのでしょうか？「自助、共助」を私達自身の問題としてとらえ直す為、高槻市危機管理室に出前講座を依頼しました。実は、高槻市の自主防災については、危機管理室とコミュニティ推進室が連携し、推進室の担当者の方も熱心に活動されていると、11月の勉強会時にお聞きした経緯も踏まえています。危機管理室には、フォーラムでは時間の関係で語りつくせなかった情報をお話いただけます。

図書館情報

4人の議員が12月市議会で図書館関連質問

12月19日、20日と開かれた12月高槻市議会本会議の一般質問で、図書館行政に関し何と4名の市議会議員の方が質問をされました。質問抜粋：①高槻は図書館職員が文科省基準に比較して少ない。②図書館長は、北摂7市で35人中25人が資格持つ、高槻は資格が無い人ばかり。③移動図書館は休止か廃止か？④まちごと図書館構想の内容は？来年度から実施できるのか？⑤公民館図書コーナーの活用方法 等等の質問に対し、回答は、「適正に配置する。」「具体的回答なし」「研究中」「検討中」等等、全て木で鼻をくくったような回答に終始。あまりにもひどい実態に唖然となりました。高槻は、職員も意欲的に働かれているのに、非常勤で身分が不安定な人が多く北摂他都市と見劣りします。

高槻市は、図書館で働く人は優秀なのに、その行政組織と運営に問題を抱えているのではないのでしょうか。

順位	議員氏名	質問事項
10	野々上 愛	1 図書館の今後のあり方について 2 発達相談の現状と課題について
15	高木 隆太	1 移動図書館・まちごと図書館について
16	宮本雄一郎	1 地元産木材の利用促進について 2 図書館行政について
17	灰垣 和美	1 今後の図書館行政について 2 子育て支援について

ホームページ：<https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdo.com>

編集室



「守る会」は、個人会員を募集しています。

会の趣旨に賛同して頂ける方であればどなたでも入会可能です。

「守る会」定例会は、毎月、第4土曜日 16:00~18:00、上牧公民館 (上牧町本澄寺前) で開催しております。

連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp)迄

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表：上田 博夫

住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町

1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号：070-3300-7149